

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 6 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課長	荻田 信幸
健福-21	シルバー人材センター支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	就業を希望する高齢者
意図	働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。
効果	高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

・シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	シルバー人材センター助成事業	運営費補助金、小破修繕補助金、運転資金貸付	シルバー人材センター会員数(人)	501 / 600	33,619 / 33,619	530 33,619	83.5%
02				/	/		
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	7,000 / 7,000	7,000	7,000	
			一般財源	26,619 / 26,619	26,619	26,619	
			事業費の合計(千円)	33,619 / 33,619	33,619	33,619	
		人件費(千円)		2,276	2,306		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.3	0.3	0.3			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	シルバー人材センター助成事業	コロナ禍において事業活動の制限を受けたこともあり、思うように入会促進ができなかった。	シルバー人材センターの安定した運営に寄与することで、高齢者の社会参加を支援できている。	高齢者の社会参加の促進においてシルバー人材センターが果たす役割は大きいですが、今後は市の補助金だけに頼らない自立した運営に向けた支援をする必要がある。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>勤労意欲のある高齢者に対し、生きがいと社会参加の機会を提供するシルバー人材センターを支援することは、健康寿命の延伸や地域の活性化につながるため、自立した運営に向けた支援の方法など見直しを行いながら引き続き事業を継続していく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	シルバー人材センター会員数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
一定数の会員が確保されることで、シルバー人材センターの安定した運営につながり、高齢者の社会参加に貢献できるため。	目標値		600	530				
	実績値	513	501					
	達成率		83.5%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	シルバー人材センター事業実績 上段=会員数、下段=就業率(請負・委任における就業実人員÷会員数)(令和2年度)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市		
他市実績	513人	1,196人	1,780人	2,514人	939人		
	89.3%	73.0%	51.0%	40.1%	67.1%		

比較事項	シルバー人材センター補助割合 上段=経常収益(予算額)、下段=経常収益に対する市補助金の割合(令和2年度)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市		
他市実績	344,539千円	573,451千円	635,739千円	960,821千円	546,402千円		
	8.4%	3.2%	2.3%	5.0%	5.6%		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市と比べ就業率は高いが会員数が少ないため、事業収入が少なく自立した運営において課題がある。
----------------------	--